

研究主題 教科等の専門性を高める研究活動の実施と国語科教員の資質向上

～研究授業・研究協議会・講演会等による教材・指導法の研究と開発～

I 本研究会（都国研）の概要

本研究会は東京都内の公立私立の高等学校・中等教育学校・高等学校附属中学校の国語科教員及び国語科教育関係者のための研究団体である。全国の国語教育研究会の中でも主要な役割を果たしており、60年以上にわたって日本の国語教育に関わってきた研究会である。

常に時代を先読みし、次の時代に必要な国語の力を育成するための教材や指導方法の研究及び国語科教員の研修を行っている。

II 研究の目的

新学習指導要領では、各科目の内容と取扱いに大きな変更があった。特に国語科において大きな改編が行われたため、各校の国語科の教員は様々なところで情報収集をし、試行錯誤を続けながら指導計画の作成に取り組んでいるところである。

そこで本研究会では対面での研究授業・研究協議会を継続的に実施することにより新学習指導要領に基づく実際の授業・評価について検討し、教科等の専門性を高めるために有意義な機会の提供を行うことを主な目的とした。

III 研究の方法（講演会）

5月18日（土）総会での講演会

①「誤読の解釈史～『伊勢物語』と古典教育」

講師 村上 湛（田村 良平）氏

（古典演劇評論家・明星大学人文学部教授）

②「令和7年度大学入学共通テストについて」

講師 森下 平 氏

（大学入試センター審議役（兼）試験・研究統括補佐官
（兼）試験企画部長）

III 研究の方法（研究集会）

【夏季研究集会】

7月30日（火）

会場 都立小金井北高等学校

内容「平安時代の内裏の後宮」

講師 慶應義塾大学文学部

国文学専攻

准教授 栗本 賀世子 氏

【冬季研究集会】

12月27日（金）

会場 都立神代高等学校

内容「『書き手』としての自分
をつくる ライティング・
ワークショップの魅力」

講師 軽井沢風越学園 教諭

澤田 英輔 氏

Ⅲ 研究の方法(研究授業)

【研究授業①】

6月20日(木)

会場 都立西高等学校

科目名 「言語文化」(高校1年)

単元名 随筆 徒然草

授業者 都立西高等学校 指導教諭 井出 千青

【研究授業②】

9月26日(木)

会場 都立武蔵高等学校

科目名 「文学国語」(高校2年)

単元名 「こころ」 夏目漱石

授業者 都立武蔵高等学校 主任教諭 平井弘子

【研究授業③】

10月18日(金)

会場 都立小石川中等教育学校

科目名 「古典探究」(高校2年)

単元名 随筆 枕草子

授業者 都立小石川中等教育学校 教諭 永田 晃平

【研究授業④】

11月21日(木)

会場 都立八王子東高等学校

科目名 「国語探究」(学校設定科目)

単元名 「現代日本の開化」 夏目漱石

授業者 都立八王子東高等学校 主任教諭 小野寺 亜希子

Ⅳ 研究の成果と課題

本研究会がこれまで続けている研究と実践の場所づくりについて、今年度もさらに裾野を広げることができた。講演会による知見の獲得、研究授業での指導法の習得と確認、研究協議会での相互研さんに加えて、学習指導要領に基づく指導法と評価の研究、懇談の場での自由討論等、複数の研修機会の提供により、東京都の国語科教員の研さんと指導力向上に資することができたと考えている。

今年度は特に、研究集会や研究授業、研究協議会への若手教員の参加が増加した。研究集会では、文学研究と実践的指導という違った側面から学びを深めることができ、日頃の各自の指導について振り返る機会となった。また研究授業においても、いろいろな分野の授業実践を公開することにより、多くの教員のニーズに応えられるようになってきている。実践の悩みや課題について世代を超えて気軽に共有できる場となれるよう、研究活動を推進していきたい。

<令和6年度連絡先>

団体名		東京都高等学校教育研究会	
代表者	所属	都立保谷高等学校	
	職氏名	校長 平林 正男	
	連絡先	042-422-3223	
事務局	所属	都立国分寺高等学校	
	職氏名	副校長 松原 志保	
	連絡先	042-323-3371	
団体ホームページ	URL	http://www.kokugo.gr.jp/to-kokugo-kenkyu.html	
	二次元コード		